

【不祥事根絶に向けた本校の決意】（行動基準）

- 私たちは、葦陽高校の教育に誇りを持っている。
- 私たちは、常に、周囲にそして自分に問いかける。
その行動は、
 1. 「生徒の成長のために」を判断基準にしているか？
 2. 「これぐらいは大丈夫」と思っていないか？
 3. チームの一員としての責任を背負っているか？

令和2年度不祥事根絶のための行動計画

福山葦陽高等学校
作成責任者 校長 田玄 和司

区分	本校の課題	行動目標	取組内容	点検方法・時期
<p>【職員が変わる】</p> <p>◎葦陽高校職員であることの使命感と誇りの醸成</p>	<p>○葦陽高校の職員であることの自覚と誇りを高めること。</p> <p>○教育公務員としての服務規律を厳正に確保すること。</p>	<p>○学校経営目標を理解し、自らの使命を自覚する。</p> <p>○業務の目的を生徒の成長につなげる。</p> <p>○所掌する事務処理の結果に責任を持つ。</p>	<p>○葦陽高校職員の使命・行動基準の公開</p> <p>○仕事への貢献度を自己評価（業績評価書を用いて）</p> <p>○体罰・セクハラ等のケーススタディによる背景・要因の分析（陥ってはならない構図の理解）</p>	<p>○点検・評価（5月、9月、2月）</p> <p>○職員の意識調査（研修終了時）</p>
<p>【職場が変わる】</p> <p>◎不祥事の起こりにくい職場環境の構築</p>	<p>○職員間のコミュニケーションを円滑に行い、相互の信頼感を高めること。</p> <p>○業務改善を進めること。</p> <p>○業務を効率的に処理し、ミスの生じないシステムを確立すること。</p>	<p>○チェック体制を確立する（起案・成績処理を通して）。</p> <p>○業務の目的を再考し、前年度に見直しを行う。</p> <p>○効率的で正確な業務の運用の仕方を確立する。</p>	<p>○ヌケ・モレのないチェック体制</p> <p>○校務支援システムの理解と業務内容の見直し</p> <p>○成績処理システムの簡素化</p>	<p>○職員アンケートにおける「議論の活性化」の数値（2月）</p> <p>○定期考査時のチェック状況、起案のチェック状況</p> <p>○体罰・セクハラ等に関するアンケート調査（年3回）</p>
<p>【行動が変わる】</p> <p>◎非違行為の早期発見と未然に防ぐ方策の具現化</p>	<p>○組織で決めたことを職員間で徹底すること。</p> <p>○大人としての範を示すこと。</p>	<p>○体罰・ハラスメントを絶対に起こさない意識、許さない職員間の連携を確立する。</p> <p>○生徒指導に係る組織的指導を理解し、徹底を行う。</p> <p>○挨拶を励行する。</p>	<p>○不祥事に係るチェックリストの実施と不具合の解消</p> <p>○職員朝礼や諸会議での情報の共有（大事なことが周知できている）</p> <p>○具体的な指導場面をモデルに、適切な生徒指導の在り方の研修</p>	<p>○チェックリストの実施と確認</p> <p>○研修後の職員アンケートでの意識調査（不定期）</p>